

びわこリハビリテーション専門職大学図書館

『20代で得た知見』



F 著
KADOKAWA／2020 年
ISBN 9784046047991

20代は、10代の頃に経験できないことが沢山経験できるようになります。本書には、著者が人生で出会った人々の言葉や数万冊の本を読み、得た知見がまとめられています。短い話なので読みやすくどこから読んでも自由です。心に残る言葉を是非見つけてみてください。

立命館大学図書館

『シーボルトが持ち帰った琵琶湖の魚たち』



細谷和海著
サンライズ出版／2023 年
ISBN 9784883257904

歴史で習ったオランダの医師シーボルトは実は博物学者でもあり、琵琶湖水系の淡水魚も標本としてオランダに持ち帰っています。この本はシーボルトと琵琶湖というたいへんおもしろい切り口で琵琶湖の魚について説明しています。写真や図も多いので楽しみながら読める一冊です。

龍谷大学図書館

『LIFE SHIFT : 100 年時代の人生戦略』



リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著
東洋経済新報社／2016 年
ISBN 9784492533871

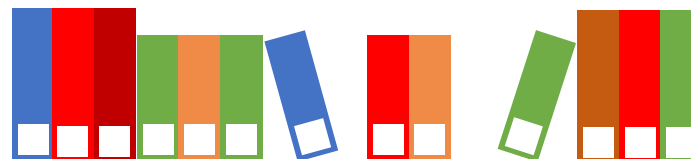
現在、先進国の 20 歳前後の若者の二人に一人は 100 歳以上の人生を歩みます。医療技術の進歩とも相まって健康な状態で長生きできると予測されています。充実した 100 年を生き抜くにはどうすべきなのか、この本が考える契機になればと思います。人生を楽しんでください。

『滋賀県大学図書館のおすすめ本』 Vol.3

- 掲載の図書は必ずしも各大学で所蔵しているわけではありません。まずは所属大学の図書館でご確認ください。

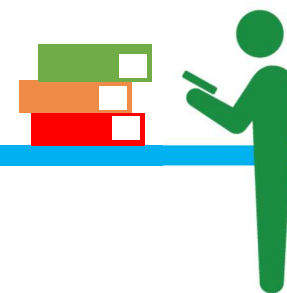
発行：滋賀県大学図書館連絡会
発行日：2024 年 3 月

滋賀県大学図書館のおすすめ本



Vol.3

滋賀県内の大学・短期大学図書館が
大学生にお薦めするブックリストです。
このリストを通して、新しい世界に触れ
てみませんか？



滋賀医科大学附属図書館

『語学の天才まで 1 億光年』



高野秀行著
集英社インターナショナル／2022 年
ISBN 9784797674149

「もっと語学を勉強して、世界の人と喋ってみたい！」と考えているそのあなた、「でもどうやったらうまくなるの？」と思いませんか。世界の辺境を渡り歩き、25 以上の言語を学んだノンフィクション作家の、一筋縄ではいかない体当たり語学放浪の秘密をのぞいてみましょう。

滋賀県立大学図書情報センター

『世界の食卓から社会が見える』



岡根谷実里著
大和書房／2023 年
ISBN 9784479394020

世界各地のおうちを訪問し、一緒に料理をして、一緒にごはんを食べる、そんなユニークな旅をしながら綴ったエッセイ。おいしいごはんを介して語られる政治、宗教、教育、地球環境、パレスチナ問題…、どれも面白く、身近に感じられて、心にストンと落ちてきます。

滋賀短期大学図書館

『Remember 記憶の科学 : しっかり覚えて上手に忘れるための 18 章』



リサ・ジェノヴァ著；小浜杏訳
白揚社／2023 年
ISBN 9784826902465

「もっと記憶力があれば…」テスト前は特に、そう思う人は多いだろう。「記憶」とはどのように作られ、どう保存されるのか、本書は神経科学者でもある著者の経験談を織り交ぜながら、専門的な内容が分かりやすく書かれている。「覚えたのに忘れてしまった」をなくしたい人、必読。

滋賀大学附属図書館

『さみしい夜にはペンを持て』



古賀史健著；ならの絵
ポプラ社／2023 年
ISBN 9784591178546

口下手な人、文章で表現するのが苦手な人にこそぜひ読んでもらいたい。悩みやさみしさを抱えている人、自分の気持ちをことばにして日記を書いてみませんか。この本を読むと誰でも日記が書きたくなります。そして自分のことが少しずつ好きになれる気がします。

滋賀文教短期大学図書館

『頭のいい人が話す前に考えていること』



安達裕哉著
ダイヤモンド社／2023 年
ISBN 9784478116692

会話をするとき、うまく相手に伝えきれなかった経験はありませんか？本書では、身近な具体例を用いながら上手に伝える方法を教えてください。著者自らの経験を踏まえ、頭のいい人になるためのプログラムを解説。会話が苦手な人や、より高みを目指したい人におすすめの一冊です。

成安造形大学附属図書館

『もしもワニに襲われたら』



ジョシュア・ベイビン[ほか]著
文響社／2023 年
ISBN 9784866515861

目次に並ぶシチュエーションはあきらかに深刻、述べられているのは専門家の助言を得たどう見ても本気のアドバイス、なのに読んでいて笑みが浮かぶ方。それは正常な反応です。備えあれば憂い無し？君子危うきに近寄らず？読了後にもう一度読んでください。冒頭に戻ってまえがきを。

聖泉大学図書館

『コウノドリ (全 32 巻)』



鈴ノ木ユウ著
講談社／2013 年
ISBN 9784063872279

産婦人科での「命が産まれる瞬間」。それは喜ばしいことだと考える方も多いでしょう。しかし現実では未成年の妊娠や死産など生まれてくる子や夫婦の間で起こる多くの問題が存在します。そんな現場の過酷さをリアルに伝え、登場人物それぞれの想いに考えさせられる作品です。

長浜バイオ大学教育・学術情報センター図書室

『論文図表を読む作法 (実験医学, 別冊)』



牛島俊和, 中山敬一編集
羊土社／2022 年
ISBN 9784758122603

この本は、様々なデータの読み取り方が書かれており、初めて見る図表でもしっかりデータを読み取ることができると思います。エッセンスと注意点も書かれているので、生命科学・医学論文を読む方へ特におすすめしたい 1 冊です。研究室に 1 冊あってもいいのではないのでしょうか。

びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部図書館

『本居宣長から教育を考える： 声・文字・和歌』



榎本恵理著
ぺりかん社／2023 年
ISBN 9784831516381

本居宣長(1730-1801) の思想を、他者とつながる和歌という「メディア」を視点に読み解いた本です。「文字」よりも「声」を優先する宣長の学問の分析から、「認知的能力」よりも「社会情動的能力」の育成という、今求められている教育現場の課題への手がかりを考察した一冊です。

びわこ成蹊スポーツ大学図書館

『きみのことが だいすき』



いぬいさえこ著
パイインターナショナル／2022 年
ISBN 9784756255525

私が紹介する本は「きみのことが だいすき」です。普段本など読まない私でも思わず手に取り全部読み終えた本。全たった 32 ページ。読むか読まないかあなた次第ですが、この本は毎日頑張っている自分への励ましの絵本となっています。私から一言。「私たちは毎日大優勝」